

**(龍松院)公慶** 僧。戦国時代末に兵火を受け100年以上荒廃したままだった東大寺大仏と大仏殿の再興に半生を捧げた。  
こうけい  
市中諸法度・1648 = 丹後国宮津で、もと大和高山の武士で興福寺衆徒だったが戦乱で離散し京極高広に仕えることになった鷹山頼茂の第七子に生まれる。

**徳川家光没**・1651 = 3歳：父が致仕して、かって本拠地だった奈良に移住。

**明暦の大火**・1657 = 9歳：

・・・・・・1660 = 12歳：\_東大寺に入山，栄慶について得度し，公慶と名乗るや，荒廃した東大寺大仏と大仏殿の再興を志し，

・・・・・・1664 = 16歳：俱舎三十講に初めて勤仕し，

**酒井忠清大老**1666 = 18歳：\_この年の修二会で，初めて参籠するなど，精進し，

談林派俳諧・1675 = 27歳：\_師栄慶から龍松院の院号を贈られて法嗣となり，  
・・・・・・1676 = 28歳：\_師の死去とともに，大誓院を継いで止住，

好色一代男・1682 = 34歳：幕府に東大寺八幡宮造営を訴願する担当となり，初めて江戸に出るも，門前払いで奈良に戻るが，

**堀田正俊暗殺**1684 = 36歳：\*幕府に大仏修理の許可を願い出，全て自ら勤進して幕府の援助は受けないという条件で，許可され，朝廷に報告するとともに，勤進も開始，

出世景清初演1685 = 37歳：\_江戸浅草で勤進活動を続けた後，大仏修復事始の儀を行い，  
・・・・・・1686 = 38歳：\_京都・大坂・伏見の奉行所や大和国内の藩主に届け出て，勤進活動するうち，事務も多くなったことから，東大寺内に龍松院を建立して移住。

日本永代蔵・1688 = 40歳：\*僧千人・工匠五百人を招いて新始めの儀を行い，東山天皇から上人号を下賜される。

湯島聖堂・・1690 = 42歳：大仏頭部の鑄造が成り，

別子銅山始・1691 = 43歳：大仏の新粧が修了し，

世間胸算用・1692 = 44歳：\*開眼供養を行うと，参詣20万人を超え東大寺周辺に大きな経済効果をもたらし，引続き大仏殿の復興に着手，江戸に勤進所を設置し，

奥の細道・・1693 = 45歳：\_知恩院隆光を通じて，將軍綱吉に拝謁，幕府の鎮護寺とされ，その強力な援助を得て勤進活動，

芭蕉+師宣没 1694 = 46歳：\_大仏殿普請始の儀を行い，自ら山陽・九州方面に出向いて勤進，

**生類憐令頂点**1695 = 47歳：\_將軍の母桂昌院からの五百両に続いて，

重秀勘定奉行1696 = 48歳：\_將軍自身からも千両の寄進を受けるも，資金はなお不足し，事業が停滞したため，

・・・・・・1697 = 49歳：\_幕府に諸大名から石高に応じて奉加金を徴収することを願い出て許可され，ついに国家的事業となり，

赤穂浪士討入1702 = 54歳：

御蔭参流行・1705 = 57歳：\*上棟式を挙行すると，江戸に出て，將軍や幕府への拝礼の儀をすませて，直後に死去した桂昌院の柩に供奉までしたが，直後に発病し，江戸で没した。  
没後4年目に大仏殿は落慶し，そのまま現在に伝わることになる。